

No.	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
1	<p>学校再編の意義はよくわかったが、校区の編成をやり直して欲しい。できない場合は、近くの学校を選ばせて欲しい。</p>	<p>校区について、一時期、近くの学校に通えたことがあったが、現状では「学校に近いから」という理由での指定校変更は認めておらず、再編後も同様の方針を考えている。同じ集落内で、家ごとに異なる学校へ通学する子どもが出てくることによる、地域のコミュニティ活動への支障等を考慮して、今回の計画を策定している。遠距離の小学校については、スクールバスを活用したい。しかし、地域の理解があれば、将来的に柔軟な対応を行う可能性もある。</p>
	<p>学童保育に行く児童の下校時のバスはどうなるのか？</p>	<p>学童保育所は、現在も原則、保護者によるお迎えであり、土曜日は保護者による送り迎えとしている。再編後も同様の対応をお願いしたい。そのため、スクールバスは帰りも1便を予定している。</p>
	<p>学校が遠くなってしまうと、学童保育所までの送迎時間も長くなる。学童保育は18時までだと思うが、間に合わなくなる保護者もいるのでは？</p>	<p>現状、学童保育は18時までで、有料の延長保育が19時までとなっている。対応として、18時までを18時半までとするなどは考えられる。要望は所管課に伝える。</p>
2	<p>藤吉校区は、旧三橋町地区の4校区との統合が計画されているが、現在で適正規模を満たしている。統合の必要があるのか？さらに、小学校19校を4校まで減らす必要があるのか疑問である。また、校区に関して、柳河小と矢ヶ部小、また東宮永小と両開小は距離が近いのに別の学校となり、疑問である。今後、私の子どもが通うことになるので、現在の編成案では反対である。</p>	<p>藤吉小は統合する必要があるのかという疑問は、もっともだと思う。規模だけを見ると、他の学校の統合後と同程度の規模を持っている。様々な組み合わせを検討したが、仮に藤吉小を単独で残し、その他4校を統合する案では校区が歪な形になるうえ、4校統合校は当分2クラスを維持できるか否かという状況である。旧三橋町地区全体を考えて、安定して2クラスを維持するためには、藤吉小を含めての統合が必要という考えで今回の計画案を策定している。小学校区を分割しない、旧市町を跨ぐ組み合わせを行わないという自ら立てた方針に縛られている形だが、校区コミュニティ活動、地区公民館活動への影響を考慮しての計画である。ただ、組み合わせ案については、今回の意見を含め、いろいろな意見をいただいている。持ち帰らせていただきたい。</p>
	<p>2点目に義務教育学校では、図書室や保健室は小中学校であわせて1つになるのか？</p>	<p>(学校教育課長)義務教育学校の図書室については、図書室を2つ作る、あるいは広い図書館を作るなど含めて柔軟な対応を図りたい。</p> <p>(首席指導官)義務教育学校の保健室について、養護教諭を2人置けるかという問題だと思う。義務教育学校にすることで、教員の配置はかなり柔軟な対応が可能になる。確かとは言えないが、視察した学校では2人の養護教諭を置き、2つの保健室を作っていたと記憶しており、その形が望ましいと考えている。</p>
	<p>図書室については柔軟な対応を図るとのことだが、司書は1人になるのか？</p>	<p>学校司書については、現状でも市で会計年度任用職員として任用しており、市の判断で対応が可能。この場でどちらが良いか断定はできかねるが、図書室を2つ作ることは可能。統合した図書室を作る場合も、小学生相当の担当と中学生相当の担当として2人の司書を置くことが可能である。</p>

No.	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
2 つづき	19小学校が4小学校になるにあたり、校区再編には地域の反対があるという話だが、協力を得られるよう、教育委員会としてもっと注力して欲しい。意見だが、通学距離が長くなることで事件や事故の件数が非常に多くなる。その点についてきちんと考慮して欲しい。	スクールバスの運行方法や登下校時の安全対策について、様々な方々に協力をお願いすることも出てくると思うが、教育委員会としても事件事故がないよう対策を検討したい。
3	やはり学校を新しくするのであれば、校区も再編するのが当然だと思う。検討をお願いしたい。	校区については、現在提案し説明を進めている段階である。いただいたご意見は説明会終了後に教育委員会で検討することとしているので、持ち帰らせていただく。
4	<p>区長をしているが、私は昭和28年頃に藤吉小に入学し、愛着や誇りを持っている。単独でも他の統合校と同程度の規模なのであれば、校区の形を考慮に入れて、藤吉小と矢ヶ部小での統合、他3校での統合により2校とするのはどうか？藤吉は人口も増えてきており、将来的には増加が止まる可能性もあるが、現時点では統合の必要はないのではないかと？</p> <p>また義務教育学校の話があったが、公平性の観点から、蒲池校区や昭代校区も通常の小中学校にしてはどうか？</p>	<p>藤吉小を単独で残す、または藤吉小と矢ヶ部小での統合案だが、施設規模を考えると児童生徒が入りきれず、校舎新設あるいは移転の課題が出てくる。組み合わせ案に関する意見であるため、持ち帰り再度検討する。</p> <p>蒲池校区と昭代校区で義務教育学校を導入した理由としては、隣接する校区の関係で、なかなか小学校同士や中学校同士での組み合わせが困難なためである。蒲池校区と昭代校区で組み合わせるとしても、非常に歪な形で校区が広く、通学の便が悪い。蒲池校区と昭代校区の居住実態等を考慮し、横の繋がりによる再編ではなく、縦の繋がりを作るための義務教育学校という形での再編を検討している。教育の平等性についてだが、義務教育学校も通常の小中学校と変わらず、学習指導要領に基づいて指導を行うことから、平等性を欠くとは考えていない。ご理解をお願いしたい。</p>
5	<p>今回の再編で残る4小学校の場所は既に決まっているのか？(仮称)三橋小に通う校区の中で最も学校から遠い箇所はどこか？</p> <p>その最も遠い箇所から学校までの距離はどれくらいか？おそらくスクールバスでの対応を想定していると思うが、その距離を1度でも歩いたことはあるか？</p> <p>子どもの立場に立った場合、毎日この距離を歩くのは大変である。計画案として提示されている、実際に子どもたちが歩くことになる道を1度も歩いたことがないというのは無責任である。</p>	<p>新設校の位置は、確定ではなく案としてご提示している。(仮称)三橋小から最も遠くなるのは、矢ヶ部校区西端、大川市との境付近である。</p> <p>4km程度である。私自身は、矢ヶ部小校区から現三橋中までを歩いたことはない。</p> <p>2km超はスクールバス等の交通手段を使うことを想定している。ご意見として受け止めさせていただきます。ありがとうございます。</p>

No.	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
6	保護者が心配するのは、通学の安全性である。あらゆる場面を想定して整備していただきたい。また概ね2kmというのは2km前後という理解でよろしいか？先程の話に出たが、4kmという距離を歩くことは想定外だと思う。西鉄柳川駅の西側の高畑地区から現三橋中までは遠い。東側の下百町付近は学校に近い場所、遠い場所あると思う。スクールバスの効率的な運用を十分検討して欲しい。	通学の安全については、当然考慮して可能な限り対応していく。スクールバスを利用する範囲や運行方法については、再編協議会(仮称)で詳細を検討していただくが、方針としては、集落内の安全な場所にバス停を設けて、ある程度の集団を乗降させたい。安全な場所については、保護者や地域の方と相談しながら検討する。
	質の高い教育を確保するためという再編の意義は理解できる。それを踏まえると、段階的に再編を繰り返すと負担が大きいというのも分かるが、中山小の再編が遅すぎるのではないかと子どもたちにとって質の高い教育を受けられるまでに10年かかるのは遅すぎる。	中山小については、市営住宅の建設等の効果か、複式学級を脱して、現在6学級と特別支援学級となっている。ただ、現状は楽観できる状態になく、対策が急務なのは仰るとおり。ただ、中山小の再編を急ぐにあたって、組み合わせる学校が必要。今回、旧三橋町地区については、三橋中を小学校に改築する計画をたてており、可能な限り早く再編を進めたいが、10年間の計画でも非常にタイトなスケジュールとなっている。組み合わせについては、持ち帰り再度検討させていただく。
7	藤吉校区に限って言えば、現状の規模と今後の推移を見るに、統合せず単体で問題ないと思う。人口の予測が難しいと言うが、どの校区も同じである。出生数だけでなく転入、転出数など他のデータは確認したのか？	柳川市の人口推移は、様々な情報を考慮した上で人口ビジョンという形で公開している。この人口ビジョンは、柳川駅前の再開発が開始される前の情報による推計である。そのため、人口ビジョンの予測では藤吉校区の児童生徒数は今より少なく、減少している見込みだった。藤吉小を単体で残す意見を多くいただいているので、地域のご意見ということで持ち帰らせていただく。
	校区コミュニティを崩さないことを念頭に置いた再編案とのことだが、学校規模が大きくなれば地域組織等も形骸化するのではないかと心配である。この点は注意して進めていただきたい。	ご意見はありがたく受け止めさせていただく。
8	校区の形を示していたが、いくらスクールバスがあると言っても、学校が遠くなる子はかなり早い時間から準備を始めなくてはならない。学校を再編するのであれば校区も綺麗に再編して欲しい。	持ち帰らせていただきたい。既存の学校施設を活用するため、既存の校区の組み合わせという方針での案であるが、今日藤吉校区の皆様から単体で残す意見を多くいただいていることを踏まえて再度検討したい。
9	三橋中を利用して統合するということが、「既存施設の利用」との間こえは良いが、校舎の老朽化が進んでいる。ユニバーサルデザインへの改修はかなりの規模になると思われるが概算で費用はどの程度か？新築する場合のコストとの比較はされているのか？	あくまで案であり、試算には至っていない。積算をするにも費用が掛かるため、不確定な段階では難しい。また、学校再編を進めるにあたり、校舎を新築するための国庫補助はすぐに付くものではないため、当初は改修等を行いつつ再編校を作り上げ、その後、改築も視野に入れて整備を進めたいと考えている。

No.	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
9 つづき	<p>大和中と三橋中との統合中は新築を予定しているのか？</p> <p>学校が廃校になった後、学校施設を利用したいという要望が多く出ていると思う。改修等して残すことも計画に組み込まれているのか？</p>	<p>基本的には改築である。使える分は使いながら、用地買収を含め、規模的に足りない部分は新しく建てることも視野に入れて検討する。旧大和町地区内なので、過疎債等を利用できればと考えている。これは、まだ、立案にあたっての構想である。</p> <p>再編により使わなくなる学校施設を、現状のまま残すかについては未定であるが、市としては公共施設を床面積ベースで2割減らす方針を立てている。今のところ、体育館等は利用希望が多い。確定ではないが、跡地の活用が決まるまでは、ある程度、現状のままだと思われる。</p>
10	<p>藤吉小は統合せず単体で残して欲しいという意見であり、聞きたいことが3点ある。1点目に、再編案を拝見した際、中学校区にこだわった案だと感じた。通学距離が長くなる場所にはバスを出すとのことだったが、通学においてはバスや徒歩に関わらず、少しでも負担が少なくなるような案を考えるべきである。</p> <p>2点目に、大和中と三橋中との統合中への再編となった経緯は？</p> <p>3点目に、学童保育についてだが、新設校に学童保育は1つというお答えが他の地区の説明会であったが、再編しなければ学童保育を利用できた子どもが、利用できなくなる状況が予想される。これについてどう対応されるのかお伺いしたい。</p> <p>同じ柳川市である以上、旧市町の枠組みにこだわらず再編して欲しい。</p> <p>統合されると中学校が遠くなるが、熱中症などが心配である。バスを出すのかもしれないが、部活等では出ないだろう。統合されたら子どもを通わせたくない。どう対応されるのかお聞きしたい。</p>	<p>藤吉小を単体で残して欲しいという意見については持ち帰り検討する。1点目については可能な限り近くの学校に通わせたいとの趣旨だと思う。これについても持ち帰り検討する。</p> <p>2点目について、三橋中は今のところ、極端に生徒数が減る見込みにはなっていない。しかし、大和中はかなりの減少が予想されるため、大和中だけでは立ち行かなくなる。そのため大和中と三橋中との統合中学校という計画案を策定している。</p> <p>3点目については子育て支援課と協議中であるが、必要とされる分は整備したい。方向性としては、新設校の敷地内に設け、必要な面積を確保する。1つになるというのは教室数ではなく運営主体の話で、統合前の学校にそれぞれ存在する学童保育の運営委員会については、新設校につき1つの運営主体になる形が自然だと考え、子育て支援課と協議中である。</p> <p>統合反対という意見だが、これについては組み合わせの問題であるため持ち帰り検討する。</p> <p>また、中学校の通学についてはバスではなく徒歩または自転車である。今いただいた意見は持ち帰り再度検討する。</p>

No.	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
10 つづき	<p>学校の統廃合だけではなく、柳川市として人を呼び込み活性化させることも大切である。隣の大川市では子育て支援等しっかりやっている。柳川市も勉強して取り組んで欲しい。</p>	<p>他の地区の説明会でも同様の意見をいただいている。大川市は県内でもトップクラスに保育料が安く、その取り組みは承知しているが、そこで競争するとなれば他の予算との兼ね合いもある。いかに住みやすいまちを作り、人口を増やしていくかは非常に大切であるが、教育委員会としてできることは、市内外の方から選ばれるような魅力ある学校を作ることだと考えている。藤吉小について、現状に満足していただいていることは、大変ありがたいところである。しかし、対応が急務となっている学校もあることから、ご理解をお願いしたい。</p>
11	<p>賛成でも反対でもないが、藤吉小は適正規模である。統合にあたっては、地域の方が納得する説明が必要である。また、柳川市の人口減少を少なからず食い止めているのは、藤吉校区および矢ヶ部校区である。もともと藤吉校区でない保護者が多く集まってきている。このような住みやすい地区から学校を遠ざけるのは、資産価値の低下に繋がりがねないが、この補償ができるのか？</p>	<p>正直に申し上げて、資産価値の補償はできない。藤吉校区の児童生徒数は現状より減る予測であったにも関わらず、少なからず人口が増えているのは、駅前の再開発等の効果もあり、住みやすいまちができたためだと理解している。全員が納得できる説明は難しいが、藤吉校区単体ではなく、旧三橋町地区全体として教育環境を整えるために考えた結果がこの計画案である。また、このまま藤吉小の児童数が増え続けた場合、学校施設に余裕がなくなる状況であることも理由のひとつである。このような様々な要素を考慮してご提示した次第だが、今回様々な意見をいただいた。持ち帰り検討したい。</p>
11	<p>学校再編にあたっては、まちづくりについても考えるべきである。大和中と三橋中との統合中を作るにあたって、周辺の交通、住宅地や商業施設等をどこに作るかといったことまで考えた上で計画を立てているのか？また、教育委員会で答えられない、例えば学童保育についての質問が多く出ているが、子育て支援課もそこに座っているべきではないか？持ち帰るではなかなか納得できない。次に、既存の建物を利用する計画として、財政面を盾にしているが、試算も行っていない状態でそう言われても納得できない。これからの時代を担う子どもたちへの教育に投資をする方がかえって良いのではないか。考え方を考えるべきである。</p> <p>学校再編とは、学びの環境をより良くするのが目的だと思う。藤吉校区は現状がベストであるにも関わらず、他の学校に合わせて統合するのは疑問が残る。</p>	<p>確かに学校再編に絡めて他の課に関する質問も多く出ているが、今回は学校再編計画の案に係る説明会である。可能な限り質問には答えたと上で、いただいた意見はきちんと所管課と共有する。よろしく願いたい。</p>

No.	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
12	持ち帰り検討と先程から言われているが、いつ反映したことが分かるのか？	全41回の説明会終了後、意見を集約し検討の上、最終案を公表する。この最終案についてパブリックコメントを実施し、9月下旬頃に最終計画を策定したいと考えている。説明会で出た意見を反映した最終案は、8月に公表を予定している。
13	8月に最終案を示された後、さらに変更されることもありうるのか？	変更はないようにしたいが、可能性はある。
14	小学校まで1.5kmの場所に住んでおり、(仮称)三橋小まではちょうど2km程度である。小学1年生を1人で2km歩かせるのは心配であり、とても現実的ではない。	概ね2kmというのは検討委員会の答申によるものであり、今後、詳細は再編協議会(仮称)で調整することになる。
	私も藤吉小は単体で良いと思っている。旧三橋町地区全体では、校区が広すぎる。また、江曲は他の学校が近いので、距離が遠い児童が学校を選べるようにして欲しい。	校区の広さについては、学校の規模を適正化するために校区を組み合わせたことによるものであり、組み合わせについては持ち帰らせていただく。
	大和中、三橋中で統合せずに、旧大和町地区の小中学校で義務教育学校にはできないのか？	旧大和町地区での義務教育学校について、学校規模的には可能であるが、現在の大和中に併設して、小学校用地を確保する課題が存在する。蒲池地区と昭代地区において義務教育学校を検討しているのは、小学校と中学校が隣接しており、一体的な整備が可能であることも理由の1つである。そのため、現時点では小学校同士、中学校同士での再編を計画している。
	義務教育学校の導入について、どのような成功例があるか？	義務教育学校は、同学年同士での再編が難しい場合に、異学年での縦の交流を増やし、学校規模を維持するという再編の形である。近隣では、八女市に9学年で100名前後の学校がある。小中学校それぞれでは規模が足りず、そのままでは人間関係が固定化しやすいが、義務教育学校にすることで、様々な効果があると確認している。しかし、旧大和町地区における義務教育学校となれば規模が若干大きく、県内でもまだ例が少ない、未知数な状態である。そのため、蒲池地区と昭代地区における義務教育学校の導入を検討している。